

可茂県事務所 振興防災課
家庭教育推進専門職 安田 早由里
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL : 0574-25-3111 内線 208
FAX : 0574-25-3934
令和5年度 12月号

いいかも



日々、成長している子ども達。負けてはられないと学ぶ親御さんたち。努力しているその実感がプレゼント。

可茂地区トレジャーワード

家庭教育楽しさ再発見！～関わろう・学び合おう・高めよう～

美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町



年末年始は、ふれあいがいっぱい！

今年も残すところ3週間となりました。「今年のことは、今年のうちに。」様々なことに区切りをつけて新しい年を迎えようと、日々、忙しく過ごしておられる方も多いことでしょう。つい「お母さん忙しいから・・・。」と、口をついて出てしまいそうになります。しかし、家庭の中で子ども達を仕事に巻き込めば、家族で同じ時間を共有する、ふれあいにもなります。仕事の最中で、終わった後で、たくさん褒めてあげることできます。親御さんにとっても大助かり。まさに一石二鳥です。遊んでいる時には見せないお子さんの表情や言動が目に残るかもしれません。「お父さんやお母さんが喜んでくれる。」「ぼく、私も家族の一員として役に立っている。」子どもにとって心が穏やかになる（安定する）瞬間です。家族がたくさんふれあう年末年始になることを期待しています。

ぺったんこ～、ミナモも頑張ります！

餅つき



助かったよ、ありがとう！

大掃除



新年の抱負

僕は、本を〇〇冊読むよ。私は、一日も休まず学校に行くよ！



伝統文化



外遊び



寒さに負けない！

子どもを認め励ましたり、アドバイスしたり、礼儀作法を教えたり、ただ一緒に過ごすだけで温かな気持ちになる。そんな時間を家族で共有することが、家庭教育の原点です。

<家庭教育学級 訪問・取材より>

今月号は、市町主催の講座と家庭教育学級がタイアップした実践例を二つ・中学校・乳幼児学級の実践例を一つずつ紹介します。



講演会型



No.16

令和5年度 可児市子育てまなび講座③

「家庭で伝える性教育」

「赤ちゃんはどこから生まれてくるの?」と子どもに聞かれたら、親としてどう答えますか。小学校の低学年から、思春期を迎える高学年～中学生の発達段階に応じて、「何」を「どのように」伝えるとよいか、助産師がお答えします。最新の性教育の情報について正しい知識を学び、「親だからこそ伝えられる、いのちの教育」を子どもに伝えましょう。

10/30(月) 10:00～11:30 可児市福祉センター 大ホールにて

参加者：約80名 子育て支援課職員：5名

講師：可児市役所健康増進課 山本 ちひろ助産師

本講座には、可児市立今渡南小・土田小・帷子小・春里小・広見小・桜ヶ丘小・今渡北小・東可児中が、家庭教育学級として参加しています。

各学校の役員さんが、受付を行います。



会場の一角の「本の紹介コーナー」に手をのばす保護者の皆さん。



うなずきながら話に聴き入る保護者の皆さん。



こころ からだ みらい

子育て学び講座(命・性に関する講座)

*性教育とは… **生き方に関わる教育**

性=「こころが生きる」と書く

自分らしく生きる

性教育=自分がどう生きるかを考える

自分も他者も大切にできる



*家庭で性を伝えるために…

性≠「恥ずかしいこと」「いやらしいこと」

性=「大切なこと」

*友達やきょうだいとトラブルがあった時…

好きな人や仲のいい人でも、**触られたときに**

「いやなきもち」になったら、「だめ」「やめて」とはっきり言ってよい。相手からそう言われたら、同じようにいやがることはやめよう。

(これは**性的同意**につながる。)

*性被害を受けないために…

「**プライベートゾーン**」⇒「**あなたの特別に大切なところ**」を教える。「**子ども自身が自分を守ることに気づかせる。**」

*「多様な性」=LGBTQ+ について

*思春期の性行動の特徴と子どもへの関わり方

「**親に SOS を出せる関係を築く**」

*性感染症や避妊について

人それぞれ、性に関する考え方は違う。パートナーを尊重することが大切! ～講話より～

<参加者の感想より>

- ・自分が子どもの頃に学んでこなかった大切な情報をたくさん学ぶことができた。子ども達に正しい知識と人への思いやりを伝えていきたい。
- ・今まで思い込みや難しさを感じていた性に関するイメージが変わった。性教育クイズを子どもと一緒にやってみたい。
- ・子どもから「赤ちゃんはどこから生まれるの?」と聞かれるようになった。どのように伝えるとよいか知ることができた。

講演会・体験活動参加型



No.17

第37回 八百津町ちびっこ広場

「八百津町ちびっこ広場とは・・・」

「ちびっこ広場」は、昭和59年度から続く八百津町の子育てに関する最大事業です。しかし、令和2年度からは新型コロナウイルスの影響で中止になっていました。以前は、八百津町の就学前親子が一堂に会する大きなイベントでしたが、4年ぶりの開催となった今年度は、規模を縮小して小学校入学前に交流をもてるような行事を、と企画開催しました。

『八百津町の子ども達が、皆、等しくよい環境の中で心豊かに育つ』ことを願い、親子が集まり共に学び、『子どもと育ち合う』を目標にしています。

＜主催＞ 八百津町保育研究会 八百津町連合保護者会 八百津町教育委員会

11/1 (水) 9:30～11:45 八百津町中央公民館&ファミリーセンターにて

参加者：年長組 親子 約56組 教育委員会職員：5名

講師：中津川市立東小学校 校長 酒井 統康先生

八百津町立の4園（八百津保育園・和知保育園・錦津保育園・久田見保育園）合同の家庭教育学級ということで、町内の年長組の保護者が、一堂に会しました。



『子育て講演会』

情報化社会におけるわが子との向き合い方

*近年、情報端末を扱う者が低年齢化している。何か起きると「ライン・ネットが悪い。」というが、それは違う。



「ライン・ネットの使い方が悪い。」

子ども達は、学校で情報モラル教育を受けている。保護者も積極的に受けよう！これからの世の中、上手につき合わなければいけない。

①知識を増やそう！

知ろうとする、知る努力をしてほしい。研修会の参加、園・学校からの通信に敏感になろう。気にかけていれば、子どもから出てくる言葉から、子どもの今を知ることができる。

②会話を増やそう！（家庭内で、親同士で）

幼い頃から会話をしていれば、思春期になっても、会話はできる。（会話の大切さを知ってほしい）

保護者から、子どもの話に

耳を傾け、コミュニケーションをとる。



子どもから相談してくれる雰囲気作りをする。

子どもの話の中には、情報がいっぱい。大人が知識として知っていれば、防げることも多い。

③保護者の責任を果たそう！

ゲームやスマホは、ほぼ同じ機能をもつ。トラブルも同様に起きる。習慣化してしまっていたら、それは危険な状態である。そこからわが子を守るためにルール作りは大切。ルールを守ることの大切さを伝える。 ～講話より～

親が講話を聴いている間、子ども達は、インストラクターの指導のもとで「運動遊び」を楽しんだ。

豊富な知識と経験に基づいた先生のお話に引き込まれ、あっという間の1時間だった。グループ討議等も組み込まれ、楽しく学びの多いひと時を過ごすことができた。

講演会・学校行事参加型



No.18

美濃加茂市立東中学校 家庭教育学級

「情報モラル」

団結祭（体育祭）で子どもの成長ぶりを見ることができ、親として大変うれしく思っている。しかし、まだまだ未熟な部分は多く、どのように子どもを支えていったらよいか悩むときもある。コミュニケーションをとることに心がけ、家が安心を感じられる場所になるよう努めたい。現代社会においてネットに関わる問題は、大人にも子どもにも切っても切り離せないものになっている。親子で学んでいきたい。 ～PTA 会長さんのあいさつより～

11/2（木） 15:00～15:50 美濃加茂市立東中学校 体育館・教室

参加者：1年生と保護者は体育館で、2・3年生は教室にてオンラインで視聴。

講師：情報モラル教育研究所 代表 上水流 信秀 氏

東中では、ここ数年、情報について学ぶ場を定期的に設けている。今年度、1学期に生徒向けの講座を行い、今回は、保護者が対象であった。生徒とのやりとりも多く、両者にとって学びの多い時間であった。（保護者参加：約150名）

「保護者の皆さん、アフターコロナ、ウィズコロナの中で、あなたは自分のお子さんをちゃんと守れていますか？」
子ども達は、これからも社会で必ずネットを経験します。経験するのはよいが、失敗してはいけない。親が、何をしたらよいか考えること！

まずは…

- ① **よくない写真を削除する。**（「1,000回の～するな」より消すことが大事。）
（自分のスマホ、相手のスマホ、ネットワークの中へと広がっていくのをくい止める。）
- ② **パスワードを定期的にかえる。**（3ヶ月に1回、年に4回くらいかえよう。）
- ③ **5時間の壁を守る。** ← 越えると戻って来られない。

次に…

被害にあったらどうするか。

我慢は、解決ではない。必ず相談する。

事実を記録して残す。 → **迷わず警察へ（生活安全課）**

- ・画面をスクリーンショットで残す。印刷してファイリングする。（どういう気持ちになったかメモしておく。）
- ・毎月決まった日を、パスワードを変える日にする。

最後に…

子ども達には、100個の禁止より、1個の模範を示した方が効果的。例：学校紹介の動画作り ～講話より～

ネットの『3つのキケン』を知ること…大切

- その① 『ばらまく危険』
- その② 『つながる危険』
- その③ 『つながらなくなる危険』

おふざけ動画は…人生を狂わせます おもしろ半分ではすまされない時代です

よりよい使い方と自分を守る使い方を考えてみましょう



**保護者が見守ることではか
お子さんを守れません！**

この日は、5限目に授業参観をし、6限目に講演会が開催されました。会の企画・運営をPTA実行委員会が担当し、執行部の参加も、随所で見られました。子ども達や学校教育への関心の高さと協力体制の手厚さを感じる講演会でした。



体験活動参加型



No.19

美濃加茂市 蜂屋・伊深・三和 2・3歳児乳幼児学級

「地域を知ろう」

今年度の活動が順調に進み、学級生同士の関係も和み、気軽に話ができるようになっていきます。活動しやすいこの時季、心地よい環境の中で仲間や自然とふれあい、つながりを深めてほしい、日頃、利用することの少ない市のコミュニティバス（あい愛バス）や市内の施設で秋を満喫してほしい。市内の様子（地域）も知ってもらえるといいなと思います。

11/9（木） 9:00～12:00 **みのかも文化の森（集合）→ 清流里山公園へ**
 参加者：親子9組（18名） 市職員：3名 図書館ボランティア：1名

みのかも文化の森集合（9時） → あい愛バス乗車（9時18分） → ぎふ清流里山公園下車（9時27分） → **公園で活動** → ぎふ清流里山公園乗車（11時31分） → みのかも文化の森下車（11時39分） → 解散（都合のつく人は、お昼を食べ、午後の便まで遊んで帰ります。）



皆さん、早めに集合！



10分足らずの楽しいバスの旅。 → 公園内で集合・目的地へ



始めの会に、図書館ボランティアの方の読み聞かせがありました。



公園内の坂を上り切ったところに、馬やうさぎなどの動物がいます。親子でふれあいました。

＜グループトーク＞ テーマ 義父母との付き合い方

「こんな自然の中で、少し重いテーマですね。」とつぶやきながらも、会話が弾みました…。

- ・離れて暮らしているので、近く買い物に来た時に家に寄って行くくらいです。子どもの行事を見に来たときに、一緒にご飯を食べます。
- ・うちは、しょっちゅう会いに来てくれます。「おかずを作ったから持って行くね。」と。義母は、いつもご飯を届けてくれます。
- ・遠方に住んでいるので、コロナのこともあり、まだ一回しか会っていません。（子どもは、まだ会っていません。）写真は、スマホで共有しています。旦那さんと二人で頑張っています。
- ・ご飯やお菓子を届けてくれます。あまり、長居しません。
- ・子どもはたまに泊ります。大人は、月1で昼過ぎに行き、ごはんを食べて帰ってくるくらいです。
- ・年末年始やお盆等、長期（1週間くらい）でずっと泊まって来ます。兄も家族で泊まり、親同士・子ども同士のふれあいが多くあります。義母が料理好きで、いつも食事を用意してくれます。
- ・月1回の割合で実家に行きます。3連休があると、必ず泊まってきます。



家庭によって違いはありますが、皆さん、よい関係を築いておられるように感じました。小さな子ども達は様々な距離感のある大人の中で社会性を身に付けていきます。いっぱい祖父母に会わせてあげてくださいね！

- ・乳幼児学級は、人と関わることができてとても楽しい。
- ・自分の母親も、このような学級に参加し、自分自身も上の子が生まれた時から参加している。家庭で子どもと1対1になると、視野が狭くなり、子どもの反応に過剰になってしまう。学級で他の子の姿を見て安心したり、刺激をもらったりして子育てをしている。
- ・乳幼児学級は、とてもためになる。情報もたくさんもらえる。愛知県に住んでいる姉のところにはこのような活動はないのでうらやましがられる。

＜参加者の声より＞

